

# 文部科学省「研究大学強化促進事業」国立大学法人 電気通信大学 ～小さくても**光る**大学：ネットワーク型URAのモデル拠点～

平成25年度配分予定額：300百万円

電気通信大学(University of Electro-Communications)の「UECビジョン2018～100周年に向けた挑戦～」を実現し、研究力強化に向けて以下の課題に取り組む

- 「**総合コミュニケーション科学**」に関する教育研究の世界的拠点をめざす。
  - ⇒UECオリジナルの『光る』研究で世界をリードし、100周年キャンパスに研究特区を開設
  - ⇒研究特区内に国際フォトニクス研究拠点を設置し国際共同研究を推進
- 国内外の大学や産業界および地域・市民などとの**多様な連携と協働**により、教育研究の質を高め、社会に貢献する。
  - ⇒研究特区内に先端共同研究施設を設け産業界との豊富な連携実績に基づくICTイノベーションを展開
- 世界から学生や**若手研究者が集い**、伸び伸びと研究しユニークな発想が生まれる環境を整える。
  - ⇒研究者にとって魅力ある研究環境を整備し、海外拠点を運営して国籍、性別を問わず、世界の一流の研究者をスカウト
  - ⇒学内文書の英文化を推進し外国人研究者や留学生へのワンストップサービスを実現
- **ネットワーク型URA**の育成・活用によるモデル拠点を形成する。
  - ⇒職階別任期制を導入し、実績を評価して長期安定雇用を保障
  - ⇒他研究機関と連携したURA人材の交流をはかり継続研鑽活動プログラムを整備
  - ⇒研究分野の強みと社会ニーズを理解し、国際的な視点で新たな研究活動を開拓
- 公務員準拠からの脱却を目指した**多様な給与制度**を段階的に導入する。
  - ⇒年俸制の適用を拡大するほか、研究休暇制度の導入を目指した規定の見直し
  - ⇒教育・研究・社会活動に基づくポイント制教員評価システムの見直し

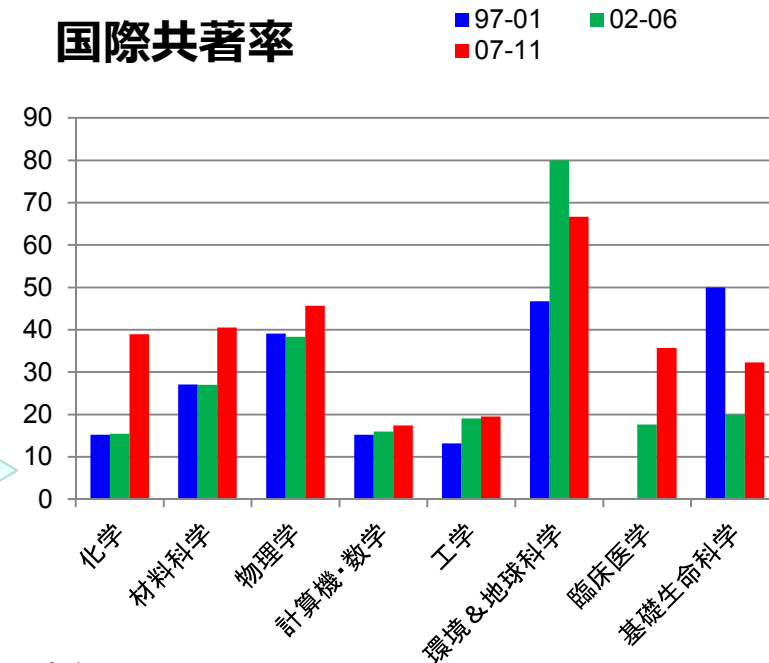
# 文部科学省「研究大学強化促進事業」国立大学法人 電気通信大学 ～小さくても**光る**大学：ネットワーク型URAのモデル拠点～



## ●研究分野の強み

- **質量ともに強い**光科学・光工学分野  
Optics/Photonics 関連研究者の層が厚い (46人)
- **高品質の論文が多い**材料科学分野
- **国内産学官連携に強い**工学・計算機科学分野
- **国際共著率が高い**環境・地球科学分野、  
なお、全分野の国際共著率も36.7%と高い

### 国際共著率



## ●研究力強化の方針と目標

- **大学院改革** 先端イノベーション創成科学研究科を新設
- **人材登用** 人事給与制度の抜本的改革 (多様な給与方式を選択可能な制度など) を実施
- **国際化** 「フェロー制度」により、世界トップクラスの研究者を毎年10名程度、3ヶ月単位で常勤職として招聘
- **研究分野** Optics/Photonics分野の世界拠点を目指して、国内外の関連機関と連携する「国際フォトリクス研究拠点」を100周年キャンパス内に創設
- **研究推進体制** ネットワーク型URAの育成と活用のモデル大学に

# 文部科学省「研究大学強化促進事業」国立大学法人 電気通信大学 ～小さくても**光る**大学：ネットワーク型URAのモデル拠点～



## ● 人事労務制度改革と人材確保

- ICT を活用した在宅勤務制度を導入
- 研究休暇制度を導入
- 公務員準拠からの脱却を目指した新たな給与制度を段階的に導入
- 国際公募と国際スカウトを組み合わせる国際人材を確保支援する制度を確立
- 産学官連携の多様なネットワークをさらに活用促進し、産業界との組織的な人事交流、人材招聘を制度化
- 女性研究者の採用増（女性研究者研究活動支援事業に基づく取組）

## ● URA人材確保と育成環境

\* ネットワークの機能を最大限に発揮できる研究マネジメント人材を求める

**シニアURA** 3人(うち自主財源 2人)、**URA** 9人(うち自主財源 3人)

- 研究分野の強みと社会ニーズを理解し、**新たな研究活動を開拓**
- 多彩なニーズとシーズから**将来の芽を見出す目利き**
- **国際的な視点**で研究をマネジメントできる
- **多様な価値を共存させる**コミュニケーション能力

**外国人、女性を積極的に登用**

\* スキルアップしながら描くキャリアパス

○ **職階別任期制**で優秀な人材を確保・育成、○ **継続研鑽CPD活動**の奨励、○ **首都圏URAバンク**による人材流動

# 文部科学省「研究大学強化促進事業」国立大学法人 電気通信大学 ～小さくても**光る**大学：ネットワーク型URAのモデル拠点～



## ●研究環境の整備・改革

### \*研究・教育活性化と研究エフォート率の向上

- 研究活性化が見込まれる若手研究者の外部資金獲得および新規テーマによる拠点形成を支援  
⇒URAが種々の学術データベースを駆使して分析し、候補となる対象者を抽出
- テニユアトラック制を発展させ、若手研究者の講義や委員会等学内業務の負担を軽減し、研究活動に専念できるよう支援  
⇒退職教員等の雇用により学内業務などを代替
- 外国人研究者の招聘・派遣とジョイント/ダブルディグリー授与制度の整備  
⇒国際協定校を中心に相互に研究者の招聘・派遣を行い、共同のカリキュラムを整備

### \*100周年キャンパス活用による**UEC**研究特区

- 「**国際フォトンクス研究拠点**」の設置  
**連携予定機関**  
【国内】宇都宮大学、光産業創成大学院大学など  
【海外】シュツットガルト大学、ロシア科学アカデミー
- 「**先端共同研究施設**」を設置し、企業等との協働による技術開発を促進

